

施策評価調書(23年度実績)

施策コード Ⅲ-4-(1)

政策体系	施策名	広域交通網の整備推進	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画頁	135
	政策名	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	広域交通網の形成	鉄道の利便性・快適性の向上	大分空港の利便性の向上	本州・四国と本県を結ぶ フェリー航路の利用促進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)										
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125						
i	大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16	57	68	68	100.0%	68	70										
ii	高速道路ICに概ね30分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16	58	77	77	100.0%	78	84										
iii	大分空港の利用者数(万人/年)	③	H16	187	130	138.3	106.4%	135	150										
iv	フェリー航路の利用台数(万台/年)	④	H16	102.2	76.8	72.8	94.8%	80.9	85										

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	東九州自動車道、中九州横断道路、中津日田道路等の整備により、広域交通網の整備促進について進捗が図られた。	達成
ii	達成	中津日田道路(本耶馬溪IC～耶馬溪山移IC)が新たに部分供用されたことにより、中津市耶馬溪地区の高速ICへのアクセス向上が図られた。	
iii	達成	東日本大震災の影響による”旅行控え”などにより、平成23年3月以降大幅な利用者減となっていたが、県外向けの情報発信として「おおいた観光・情報クーポンブック」を10万部作成し配布を行うとともに、航空会社と連携して機内誌や機内ビデオを使った誘客促進事業を行ったことに加えて、機材の大型化や大分ー伊丹線の増便もあって、平成24年1月以降利用者が増加に転じた。	
iv	概ね達成	長引く不況、原油高騰、高速道路料金施策(平日深夜・休日昼間5割引や休日上限千円(ETC装着車))をきっかけとする長距離運送業者や一般の旅客などの利用者の減少や、フェリー会社の経営合理化(一部寄港地の廃止や運行便数の減)が行われる中、平成23年6月の高速道路無料化実験の一部凍結やフェリー各社の利用促進の取組が行われたことから、目標値を概ね達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・国道197号(古宮～小志生木バイパス)、県道三重野津原線(矢田工区)等のアクセス道路の供用開始により、高速ICへのアクセス強化とともに、交通安全対策が図られた。
②	・連続立体交差事業に伴うJR大分駅付近の全線高架により、南北の自由通路化など大分駅の機能が向上した。
③	・空港のバス乗り場の表示改善により使いやすさが改善したほか、県南高速リムジンバスのルートを見直すことにより利便性が向上し利用促進につながった。
④	・フェリー航路の利用旅客数は、近年毎年減少を続けていたが、フェリー航路活性化緊急対策事業等に取り組んだ結果、初年度である23年度に初めて対前年度比を上回った。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト(千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 (公)国直轄高速道路事業負担金	—	210	2,154,010
	2 (公)国直轄道路事業負担金	—	206	1,372,763
②	1 (公)道路改良事業	—	207	20,424,860
③	1 大分空港活性化事業	見直し(24年度)事業内容の変更	25	40,628
	2 国際航空路線開設・定着化促進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	24	57,498
④	1 フェリー航路活性化緊急対策事業	現状維持	26	74,000

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～④の全てにおいて、順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路や地域高規格道路をはじめとした道路予算整備の確保 ・航空運賃・ダイヤ・空港アクセス改善等、利便性向上による他空港との競争力強化 ・東日本大震災等の影響で落ち込んだ大分～ソウル線利用者数の回復、増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェリー航路対岸地域での誘客促進等、利用者増による航路の維持・活性化

【VII. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(H23.10)</p> <p>・地方の実情に配慮し、道路整備を円滑に進めるための財源確保並びに高速道路などの道路整備の推進について特段の配慮をお願いする。</p>	
---	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・国との連携をとりながら、循環型高速交通ネットワークの早期完成を図る。 ・空港アクセスの改善や大分空港利用促進策に、行政と関係団体、経済団体が一体となって取り組む。 ・ソウル線の安定的な運航を維持するとともに、運航ダイヤの改善などを通して、国際航空路線の拡充定着化に取り組む。 ・自家用車・トラック等のフェリー利用を促進することにより、フェリーへのモーダルシフトを推進するとともに、フェリー航路の維持・活性化を図る。